



発行責任者: 歯学部長 宮崎 隆, 編集責任者: 広報委員長 井上 富雄  
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL: 03-3784-8000  
ホームページ: <http://www.showa-u.ac.jp>



## 昭和大学学祖祭が開催されました

歯学部長 宮崎 隆

平成24年度  
学校法人昭和  
大学学祖祭が、  
5月27日(日)  
午後1時から、  
上條講堂で本  
学関係者、職  
員、学生の出



席のもと盛大に開催されました。学祖祭は本学の学祖である上條秀介先生のご遺徳を称え偲ぶとともに、本学関係者が一同に会して親睦の絆をより深めるために昨年度から開催されています。当日は、学祖祭に先立ち、法人役員と上條家関係者が都立多摩霊園にある上條家墓をお参りし、小口理事長が学校法人の平成23年度事業報告ならびに24年度の事業計画を学祖に墓前報告しました。

学祖祭は久光総務担当理事の司会で始まり、片桐学長が、84年目を迎えた本学の歴史をふまえて、今年度は大学院医・歯・薬・保健医療学研究科すべてで博士課程がスタートした記念すべき年であるので益々の発展を期したいと挨拶されました。

引き続き、片桐学長から平成24年度の上條奨学賞の授与が行われました。歯学部からは、口腔生化学講座の宮本洋一准教授(研究業績)と口腔生理学講座の井上富雄教授(教育功績)が授与されました。小口理事長がプロジェクターを使って、平成23年度の事業計画と平成24年度事業計画の概要を説明しました。細山田名誉教授(前学長、現在法人監事)が、昨年に引き続き「学祖 上條秀介先生と昭和大学」というタイトルで、上條先生が「国民の健康に親身になって尽せる臨床医家を養成する」という願いのもとに、数々の苦難を乗り越えて、専門学校創設そして戦後の昭和医科大学へと発展させてきた歴史について、膨大な資料をもとに当時の社会情勢を含めて記念講演をされました。

昨年度制定された「昭和大学宣言」を看護部(大学病院)の城所扶美子さんのリードで参加者全員が唱和し、引き続き校歌を斉唱して午後3時過ぎに閉会しました。会場を移して7号館で懇親会が開催され、思い出話に話が弾みました。

## 平成24年度父兄会総会が開催されました

教育委員長 井上 美津子

平成24年度父兄会総会がさる6月16日(土)午後1時から本学上條講堂にて開催されました。大学側から、平成23年度の学校法人の事業報告と平成24年度の事業計画の概要が紹介され、決算、予算の承認等が行われました。父兄会からは毎年、学生会の活動補助、指導担任制度の補助、学生の教材の印刷補助等、大学の運営に多大なご支援をいただいております。

また同日の総会に先立ち、午前11時30分よりD6父母説明会が、12時45分からはD6学生説明会が開催され、宮崎学部長、上條学生部長の挨拶のあと、卒業試験や卒業判定、歯科医師国家試験や卒後の進路(とくに卒後研修制度や歯科病院の研修プログラム)についての説明が、井上教育委員長、佐藤D6チューター・臨床研修医マッチング支援委員長、長谷川臨床研修プログラム責任者からありました。とくに佐藤教授からはマッチングに関する詳しい説明がありました。

総会終了後は各学部に分かれ、歯学部会は4号館5階500号室で多数のご父兄の出席のもとで開催されました。宮崎学部長からパワーポイントを使って最近の歯学部の施設や教育の現状について説明があり、上條学生部長からは学生生活についての諸注意、井上教育委員長からは新年度のカリキュラムの特徴などの話がありました。

その後、7号館に会場を移して4学部合同の懇親会が開催され、こちらにも多数のご父兄の参加があり、楽しく和やかな歓談が行われた後、午後4時半過ぎにお開きになりました。



## 上條奨学賞(研究業績)を受賞して

口腔生化学講座 宮本 洋一

「硬組織構成細胞の分化・機能調節」により、平成24年度上條奨学賞(研究業績)を受賞いたしました。学祖祭の厳かな式典の中で、学祖上條秀介先生のレリーフが中央に配された楯を片桐敬学長より頂き、大変光栄に存じますとともに、身の引き締まる思いを新たに



いたしました。浅学菲才の私が上條奨学賞という栄誉ある賞を受賞することができましたのも、口腔生化学講座 上條竜太郎教授のご指導はもちろん、同僚や学内外の共同研究者のご支援、そして、日々共に研究してきた大学院生の皆さんの高い能力によるものです。この場をお借りして、深く感謝申し上げます。

今回の受賞テーマは、私が平成14年に昭和大学赴任以来、続けてきたものです。歯科医師でないばかりか、骨や歯といった硬組織についても、赴任後一から勉強するという状態でした。それまでに多少なりとも経験した活性酸素シグナルや細菌感染に関する研究と硬組織構成細胞研究との接点を探し、研究の考え方や手法を上條教授はじめ同僚の先生方から学び、大学院生とともに悪戦苦闘してきた10年間でした。今回の受賞を励みに今後も精一杯努力していきたいと存じます。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



## D2防災訓練が行われました

防災管理委員会 中村 雅典

6月1日金曜日に医歯薬3学部2年生を対象に荏原消防署のご協力のもと、防災訓練が開催されました。薬学部災害対策委員長の板部教授の挨拶、荏原消防署予防課長による災害時の対策に対する講話の後、5班に分かれて救護訓練、通報訓練、消火訓練、起震車体験、煙体験を行いました。今年度から医学部2年生が参加したことでこれまでにない大人数での訓練となりましたが、多くの学生たちは真剣にかつ興味を持って訓練に参加してくれました。昨年の東日本大震災の経験から、私たちは“想定外はない”ということを学びました。この訓練を経験することで、個々の学生には、いつ何時どのような災害が生じても自己の生命と周囲の人間の安全を守る意識を常に持って学生生活を送ってもらいたいと思います。

## 上條奨学賞(教育功績)を受賞して

口腔生理学講座 井上 富雄

この度、「基礎歯科医学教育の充実への貢献」の課題名で平成24年度上條奨学賞(教育功績)の授与を受けました。本学創設者の上條秀介先生ゆかりの栄誉ある賞をいただき大変光栄に存じます。私は平成12年に大阪大学から本学に赴任してまいりました。



すでに当時から昭和大学歯学部は医系総合大学の歯学部として高い評価を得ていましたが、過去の実績に安住することなく常に最善を求めて前進していく執行部の先生方の姿勢とそれを支える職員の協力体制に大変感銘を受けたことを覚えております。その後、昭和大学歯学部は平成15年に新カリキュラムへと大きく舵を切り、「社会と歯科医療コース」の設定やPBLと6年次海外選択実習の実施を皮切りに、「オーラルフィジシャンコース」の設定、iOSCAの実施、コンピテンシーの制定や学部連携病棟実習の実施など、「診療参加型臨床教育」を柱とした他大学に無い独自のカリキュラムを築きあげました。このような教育の大改革に、わずかではありますが私自身がその一翼を担えたことを大変幸せに感じるとともに誇りに思っております。今後も引き続いて、チーム医療が実践できる臨床能力の高い歯科医師を育成できるよう、歯科基礎医学の立場から努力していく所存です。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## D3研究入門の優秀者が表彰されました

教育委員長 井上 美津子

歯学部3学年の2月から3月にかけて、選択実習の「研究入門」が行われます。この実習では、歯科医学、とくに基礎歯学の専門性の高い研究に学生のうちから直接触れることにより、歯科医学のEBMを理解し、研究マインドが育つことが期待されています。平成23年度の研究入門では、11名の学生が口腔微生物学、口腔病理学、口腔生化学などの各教室で2週間の研究を行いました。その成果としての研究報告書などから評価が行われ、5月の教授会で成績優秀者3名(中谷貴恵、谷口飛鳥、中澤太輔)が表彰されました。また、最優秀の中谷貴恵さんはチューデント・クリニシャン・リサーチプログラムの本学代表として選出されました。



## イタリアで選択実習を行いました

D6 佐々木 直樹

4月14日から約3週間、ローマの開業医にて選択実習を行いました。最初の2週間はローマ大学出身で、インプラント科、補綴科、歯周病科専門の開業医Diego Borgese先生のクリニックにて、また、さらに1週間はDiego先生の紹介でキエティ大学出身の歯内療科専門の開業医Vini Malagnino先生のクリニックでお世話になりました。

Diego先生のクリニックでは、特に力を入れていたのがヒドロキシアパタイト粉末を用いた骨再生治療でした。基本的に抜歯直後に抜歯窩にヒドロキシアパタイトなどの粉末を填入することで、同時にインプラント治療の前処置を行っています。他にも、う蝕処置、ジルコニア・セラミックなどを用いたクラウンブリッジ補綴治療なども拝見させて頂きました。

Malagnino先生のクリニックでは基本的に歯内治療のみを行っていて、Diego先生のクリニックからも患者が紹介されてくるということでした。保険外治療のため今まで歯科病院で見てきた治療とは全く違い、感染根管治療では手用のリーマーファイルではなくMtwoというニッケルチタンファイルによる電気エンジンを使った方法を行っていました。また、根管充填では側方加圧充填法ではなく垂直加圧・側方加圧・熱を混合した独自の方法を見学させて頂きました。

どちらのクリニックでも、診療には十分な時間と十分なコミュニケーションをとり、たとえ暫間的な処置でも機能性・審美性を高く保ち、一つ一つの診療をとて丁寧に行っていました。この3週間の実習を通じて歯周治療、インプラント治療、補綴治療、歯内治療などの治療法や器具の違いはもちろん、医療を行う上で大切な患者のことを考えた丁寧な治療を心掛けることの重要性を再認識することができ、とても充実した実習を行うことが出来ました。

今回この実習を実現するにあたっては、山本先生をはじめ、多くの先生にご指導、ご協力いただきました。この場をお借りし深く御礼申し上げます。



## 昇任・採用

広報委員長 井上 富雄

滝口尚(講師昇任, 歯周病学講座)

## 選択実習を体験して(大阪大学歯科麻酔科・口腔外科)

D6 松田祐典

4月16日ー4月27日にかけて選択実習として大阪大学に行かせていただきました。私は5年次よりマルチドクタープログラムを履修しており、それがきっかけで口腔生理学教室の井上富雄教授の母校である大阪大学で実習させていただくことができました。

一週目は歯科麻酔科でした。昭和大学と大きく違うのはペインクリニックがあること、東洋医学に力を入れていることです。ペインクリニックでは主に顔面神経麻痺や三叉神経痛の患者さんを診療しており、レーザーを使った治療や星状神経節ブロックを見学することができました。とくに星状神経節ブロックやその副作用は教科書でしか見たことがなく、貴重な体験をすることができました。東洋医学については鍼灸師が鍼で治療しており、私たちも相互実習としてお互いに鍼を刺し合いました。鍼灸師の先生方には五行説や経絡など東洋医学の基本的なことを教えていただき、短い期間で東洋医学について大変勉強することができました。

二週目の第一口腔外科でもオペの見学が中心で、毎日何時間も立ちっぱなしでしたが色々な症例を見ることができました。第一口腔外科では唇顎口蓋裂の治療が盛んで、府内だけでなく全国からも患者さんが集まってくるとのことでした。腫瘍や骨切りなども取り扱っているため新しくできたばかりの4部屋のオペ室は毎日活発に稼働していました。外来の診療はミット制でチームを組んで一人の患者さんを診療する姿が印象的でした。

今回の実習で歯科医の守備範囲の広さを改めて確認することができ、自分の進路を決める上で非常に有意義な体験をすることができました。お世話になった大阪大学の先生、昭和大学の先生に心より感謝申し上げます。



## 専門医取得

広報委員長 井上 富雄

- ・日本口腔インプラント学会専門医 取得  
樋口大輔(補綴), 佐藤大輔(インプラント),  
山口葉子(インプラント)

**ヨーロッパ歯周病学会で発表しました**  
大学院(歯周病学専攻) 野口 江美子

私は、6月6日～9日までオーストリア、ウィーンで開催された「EUROPERIO7」に参加して参りました。当教室からは、山本教授、須田講師、滝口講師、大学院生の菊池先生、私の5名で参加致しました。

EUROPERIOは、3年に一度、ヨーロッパで開催されている歯周病学会で、今回の学会では、EUROPERIO過去最高の7000人が参加され、会場内は活気にあふれていました。私自身、海外の学会で発表するのは初めてで、歯周病と糖尿病の関連について発表しました。今回の学会では、各国の疫学報告をはじめ、基礎研究、インプラントや再生療法を中心とした臨床研究および症例発表など様々な報告があり、改めて歯周病を治療していくことの大切さや難しさを痛感しました。

ウィーンは、オーストリアの首都で「音楽の都」といわれているだけに、街中では楽器を演奏している人を多く見かけ、オペラ座の前にはスクリーンが設置され無料でオペラを鑑賞できるスペースがあり、身近に音楽とふれあえる国と感じました。

最後にこのような大変貴重な機会を与えて下さった薬学部生体分子薬学講座生物化学部門 板部教授、医学部糖尿病・代謝・内分泌内科学部門 平野教授、山本教授また諸先生方に心から感謝申し上げます。



**受賞** 広報委員長 井上 富雄

- ・第121回日本歯科補綴学会学術大会カポデンタル賞受賞 螺澤庸博(歯科補綴)「Virtual Patient System の補綴実習への応用」
- ・第32回日本骨形態計測学会学術奨励賞 中納治久(歯科矯正)「ヒト下顎骨における海綿骨を考慮した大規模動的解析」



**国家試験問題及び視覚素材が公募されました** 顎関節症治療学部門 船登 雅彦

厚生労働省から協力依頼が来ましたので各講座・部門で分担し、本年度は試験問題75題と視覚素材11症例を応募いたします。試験問題は臨床上必要な歯科医学的知識および技能を問う内容とし、妥当性、信頼性および客観性を求められます。特に臨床実地問題は臨床実習での成果が反映されるような治療の具体的内容、手技および技術能力を問うように作成していただきます。また、視覚素材は鮮明度が高く、きれいな画像で十分な情報が入っていることが必要です。そのため事前に十分なブラッシュアップを行います。毎年、卒業試験問題を作成する時期と重なり多大な労力をお掛けしますが、卒業試験問題の質の向上にも繋がりますので教員各位のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

**行事予定** 広報委員長 井上 富雄

- 7月 7日 昭和歯学会総会
- 7月13日 夏季スポーツ大会壮行会
- 7月24日 4学部合同入試説明会
- 7月29・30日 歯学教育者のためのワークショップ
- 7月31日 昭和大学教育者のためのワークショップ  
～8月2日
- 8月 4日 歯学部オープンキャンパス
- 8月23・24日 富士吉田教育部PBLワークショップ
- 8月25日 歯学部オープンキャンパス

**診療統計(平成24年 4月分)**  
医事係長 村田 久子

	患者数	1日平均	前月1日平均	前年1日平均
外来患者	17,887	745.3	732.4	694.6
入院患者	342	11.0	10.8	12.3

**編集後記** 歯科理工学部門 堀田 康弘

今年もまた節電の夏を迎えようとしています。昨年の今頃は、建物の中が昼間でも暗く、公共交通機関も間引き運転で混雑を極めていました。しかし、幸いにも今年は、まだそれほど暑い日は多くなく、東電発表の電力需給も不足しないと言っており、割と快適に日々過ごせています。しかし、この快適さを得るため、現在燃やしている化石燃料も原発問題同様、地球環境にはやさしくないと思う今日この頃です。

末筆になりますが、いつもお忙しい中、原稿を執筆して頂いた皆様には心より感謝申し上げます。